

個人投資家向け説明会資料

株式会社アバント

(証券コード3836 JASDAQ)

2016年(平成28年)6月2日

I. アバントの紹介

強みと戦略

II. 株主還元

株主価値

配当

***資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示しております。**

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測 戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

アバントグループ – 会社と経営者のプロフィール

AVANT

社名	株式会社アバント（英語名 AVANT CORPORATION）
設立	1997年5月26日
資本金	2億8,840万円
本社	東京都港区
売上高/利益	連結売上高 89億円 連結当期純利益 4億円 2015年6月期
従業員数	連結 570名 単体 45名 2016年3月31日時点
上場市場	東証 JASDAQ（グロース） 証券コード 3836 単元株式数 100株



～ 代表取締役 森川徹治 Tetsuji Morikawa ～

- 1990年04月 プライスウォーターハウスコンサルタント(株)入社
- 1997年05月 (株)ディーバ(現株アバント)設立 代表取締役社長
- 2013年10月 (株)ディーバ代表取締役
- 2013年10月 DIVA CORPORATION OF AMERICA CEO
- 2014年11月 (株)ジール取締役会長

※現任のみを記載

アバントグループ – 事業体制とセグメント

AVANT

AVANT

DIVA[®]

DBI[®] DIVA BUSINESS INNOVATION

ZEAL[®]



株式会社 インターネットディスクロージャー
Internet Disclosure Co., Ltd.

2013年10月新規設立

2011年設立

2012年経営統合

2009年経営統合

ディーバ

連結決算/経営システムの開発 導入、管理連結コンサルや連結決算アウトソーシングを提供

**グループ連結会計
連結経営**

ディーバビジネス
イノベーション

基幹系システムに関するソリューションをERPも含めて提供。特に会計領域に強み

**グループ子会社
向けサービス**

ジール

主要大手海外ベンダーのBIツールを管理連結やビッグデータ関連市場で導入支援

情報の活用

インターネット
ディスクロージャー

開示情報のDBや法令検索ツールで企業の開示 IR業務や会計士の監査業務を支援

**開示情報への
付加価値**

開示セグメント

ライセンス

自社製品

他社製品

他社製品

自社製品

コンサルティング



サポート 検索サービス



※株式会社アバントは2013年10月1日に新設分割により旧株式会社ディーバから商号変更し、持株会社へ移行しております。

※上記グループ子会社以外に、DIVA CORPORATION OF AMERICAがあります。

※株式会社ディーバビジネス イノベーションは、2016年6月30日に、株式会社ディーバと合併予定です。

フロー
ビジネス

ストック
ビジネス

国内シェアNo.1の連結会計システムを中核として
最高のパフォーマンスを生み出す
グループ経営を支援

連結会計

- ・制度連結/管理連結
- ・ディスクロージャー
- ・IFRS対応
- ・グループガバナンス強化

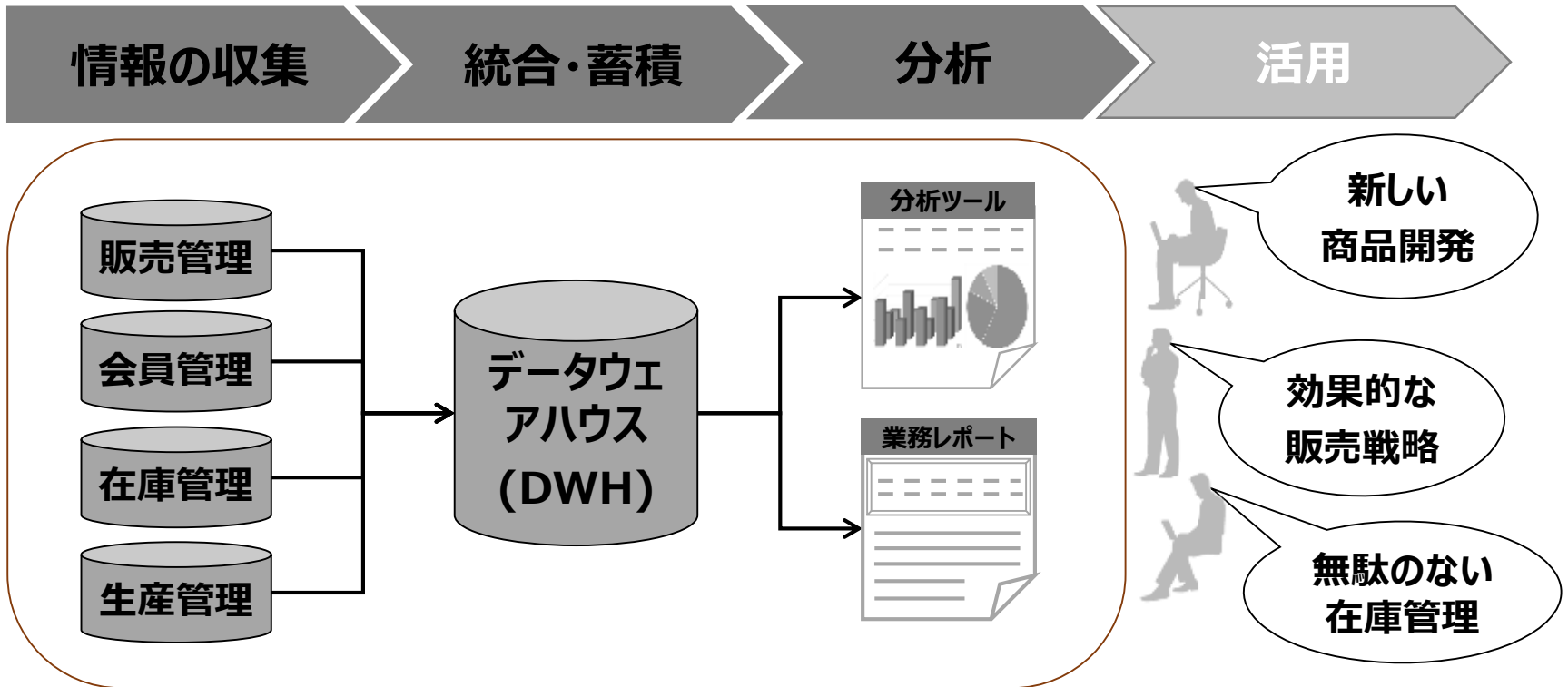
管理会計

- ・製品/市場別収益分析
- ・連結原価計算/連結配賦
- ・予算編成/予算実績管理
- ・KPI/スコアカード

決算業務 アウトソーシング

- ・連結決算/連結納税支援
- ・開示書類作成支援
- ・クラウドサービス

お客様のニーズに応じ、多種多様な情報活用 システムの構築と導入を支援



アバントグループを誇る3つの資産

多くの 優良な顧客

日本を代表するグローバル企業が中心の顧客層

- ・連結会計システムの累計導入実績850社超で、No1の実績※1
- ・東証時価総額上位100社のシェア約50%

※1 出典:富士キメラ総研 ソフトウェアビジネス新市場 2013年版・2014年版・2015年版

収益性の高い 自社プロダクト

継続的に発生する安定した収益と高い収益性

- ・ソフトウェア製品を軸としたビジネスモデルを展開
- ・お客様のIT投資効率(ROI)を高めるとともに、ストックビジネスとして着実な収益が得られる

各領域での 高い専門性

知識および経験の蓄積と製品開発の連鎖

- ・会計、IT技術、コンサルティング、各領域の専門家が多数在籍
- ・多様なプロジェクトの導入実績を通じて得たノウハウの蓄積

スーパーニッチプレーヤーの集団

- ・グループシナジーを活かした活動への展開

情報を経営に活用する(BI)業界のパイオニア

- ・BIに特化して19年間、800社以上への導入実績を誇る

日本を代表するグローバル企業が 中心の顧客層

顧客プロフィール

透明性と説明責任を重視した事業
成長を指向する企業群



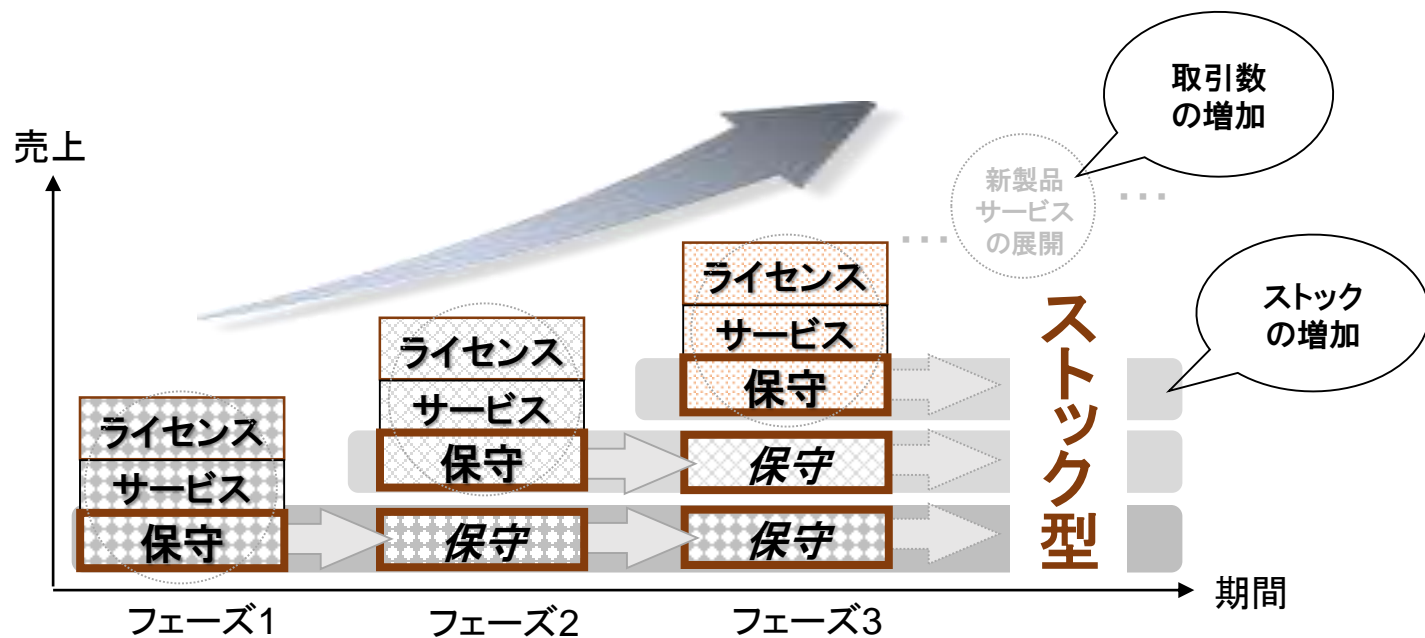
時価総額
Top50社中
24社
Top200社中
90社
その他上場企業
公開会社
非公開会社

主なお客様

トヨタ自動車 NTTドコモ 日本たばこ産業
日本電信電話 KDDI セブン&アイ ホールディ
ングス 日立グループ 三菱地所 三井不動産 パ
ナソニック アステラス製薬 三菱重工業 花王
東芝 ダイキン工業 クボタ スズキ 中外製薬 ア
サヒグループホールディングス 第一生命保険
富士フィルムホールディングス 大和ハウス工
業 旭化成 住友金属鉱山 ヤマトホールディ
ングス 味の素 リコー 大阪瓦斯 日東電工 アコム
ダイハツ工業 塩野義製薬 川崎重工業 大成建
設 ニトリホールディングス 千葉銀行 日清食品
ホールディングス...

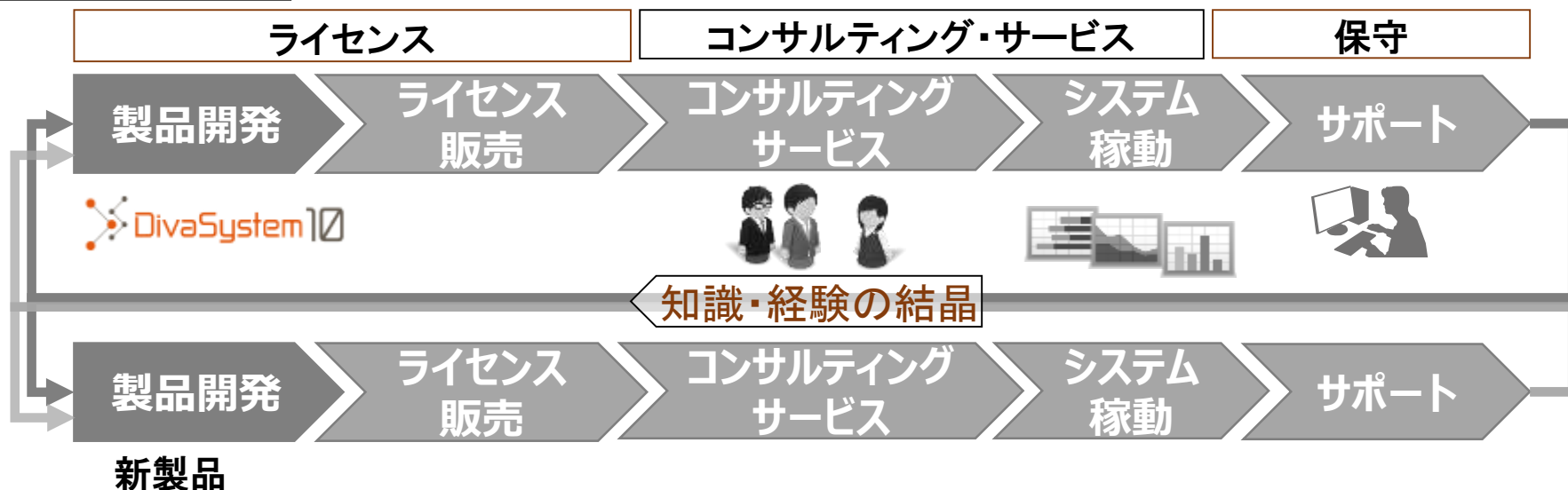
安定した収益と高い収益性

安定した収益と高い収益性を確保するため自社のソフトウェア製品を軸としたストック型ビジネスを展開



知識および経験の蓄積と製品開発の連鎖

ビジネスの主な流れ



IT技術、会計、コンサルティングなど
各領域のプロフェッショナルが
お客様からのご意見やご要望を製品開発に反映

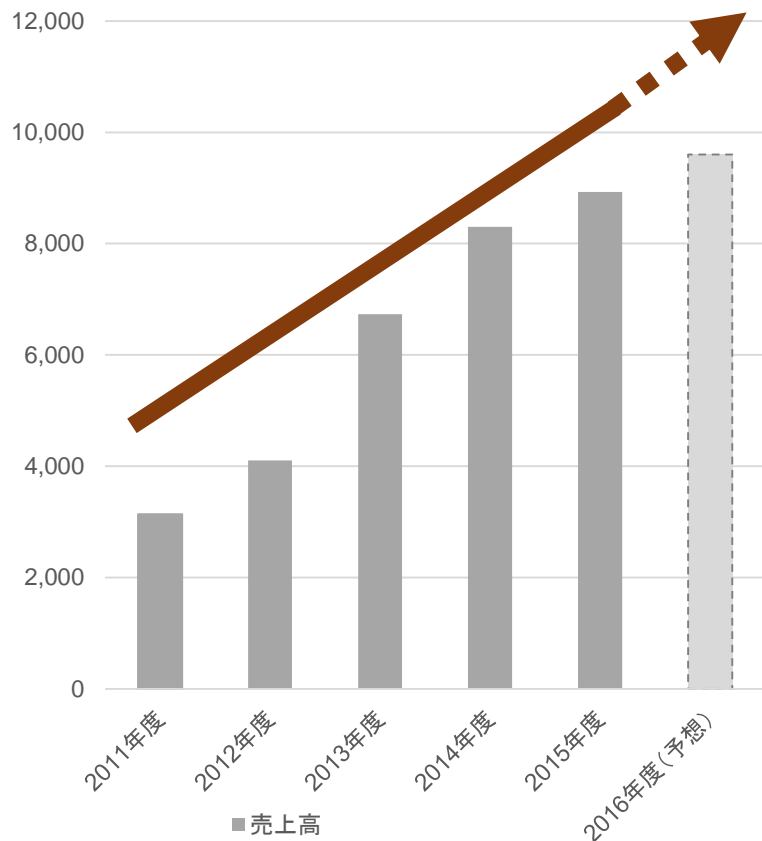
情報を経営に活用する(BI)業界のパイオニア

- 日本でビジネスインテリジェンス(BI)への認識や理解がまだなかった時代から、今後の企業経営に重要な役割を果たすものとして着目し、数々の実績とノウハウを蓄積
- 国内外の主要なメーカーとパートナー契約を締結し強固な連携体制を構築
 - 5月26日のプレスリリースより
 - 日本オラクル クラウド・アプリケーション事業統括より「Mid Market & Region Award」を受賞
- お客様のご要望に合う最適な製品、ソリューションをご提供し、導入後も的確なフォローを実施

売上高は5期連続で増収、利益は増益基調

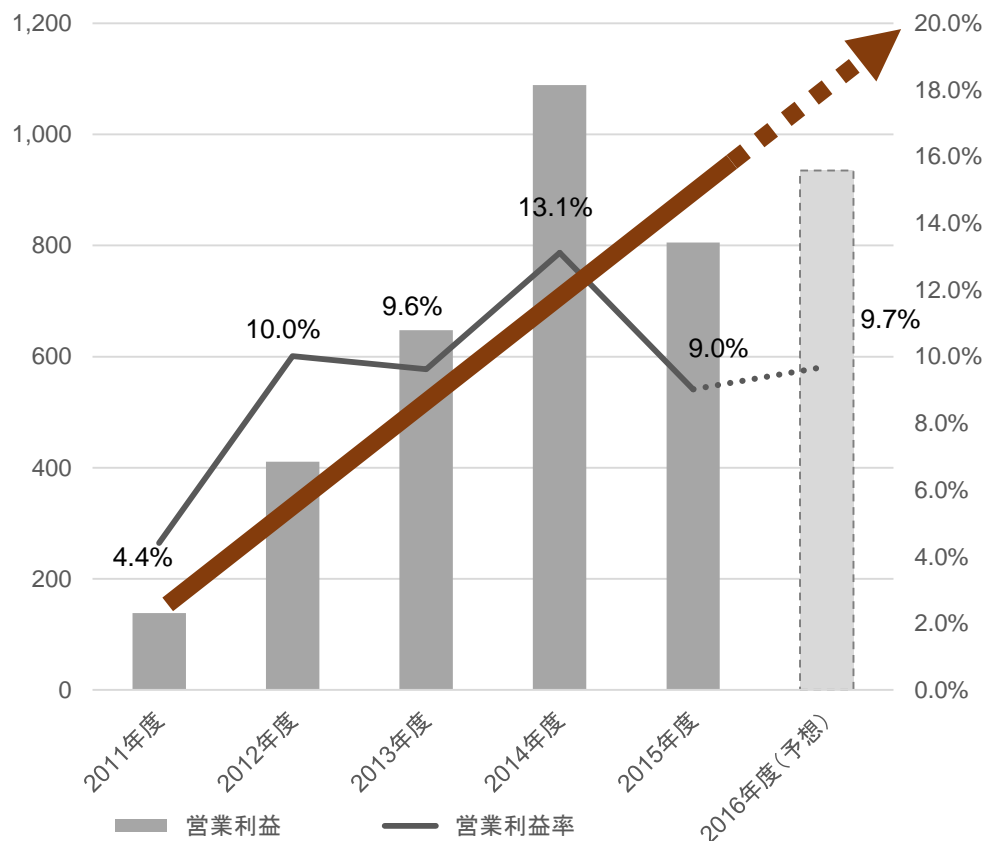
(単位:百万円)

売上高推移



(単位:百万円)

営業利益&利益率推移



持続的成長への3つの鍵

① お客様数を増やす

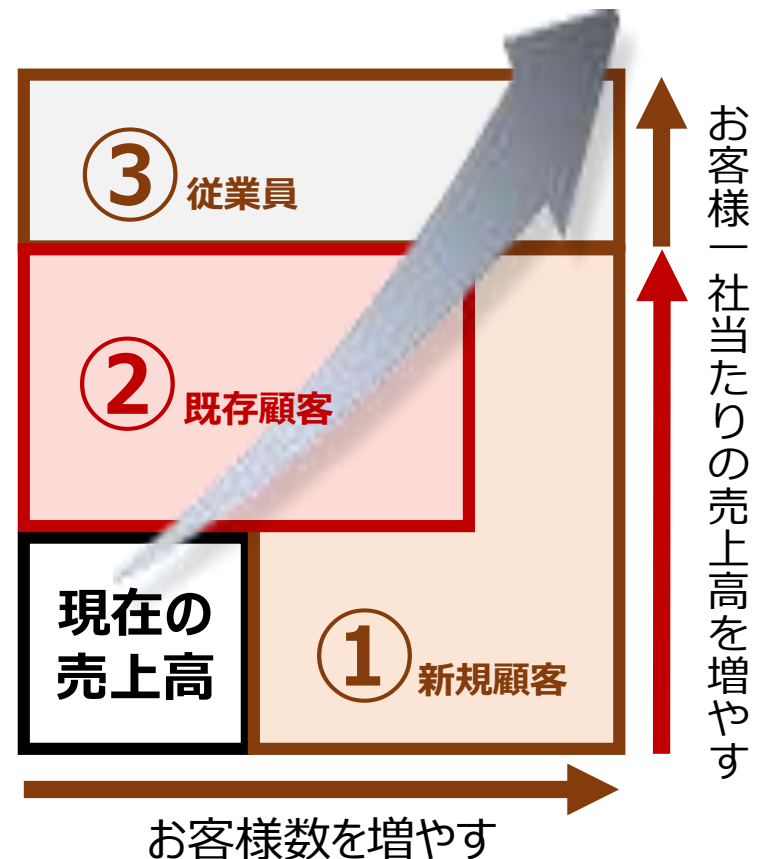
- ・顧客層の拡大
- ・販売手法の多様化
- ・対象市場の拡大(海外)

② お客様1社当りの売上高を増やす

- ・製品やサービスの種類を増加
- ・利用者数を増加

③ 従業員1人当りの生産性を高める

- ・従業員の育成・能力開発
- ・ITの有効活用



I. アバントの紹介

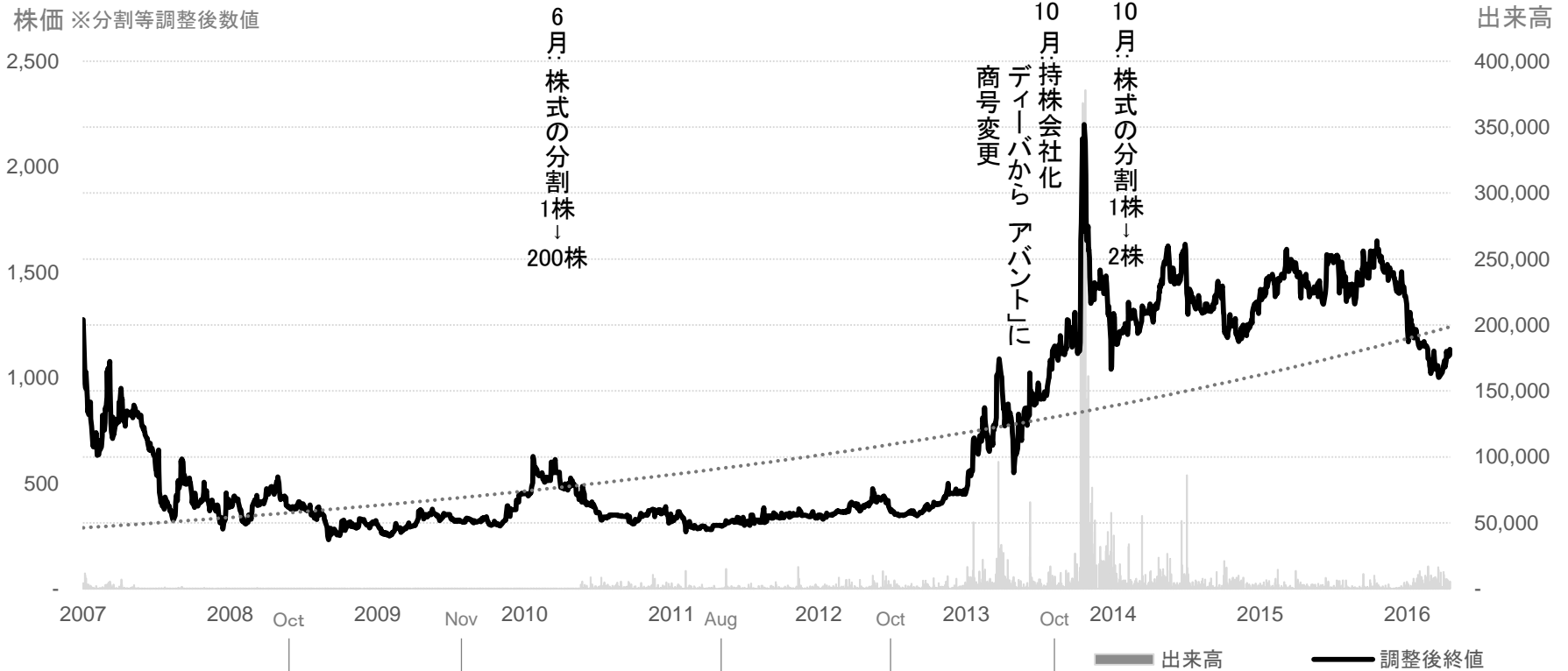
強みと戦略

II. 株主還元

株主価値

配当

株価の推移



DIVA CORPORATION OF AMERICA 設立

インターネットディスクロージャーを子会社化
株式会社 インターネットディスクロージャー Internet Disclosure Co., Ltd.

ディーバ・ビジネス・イノベーション設立
DBI®

ジールを経営統合
ZEAL®

ディーバを新設
DIVA®

ディーバからアバントへ商号変更
AVANT

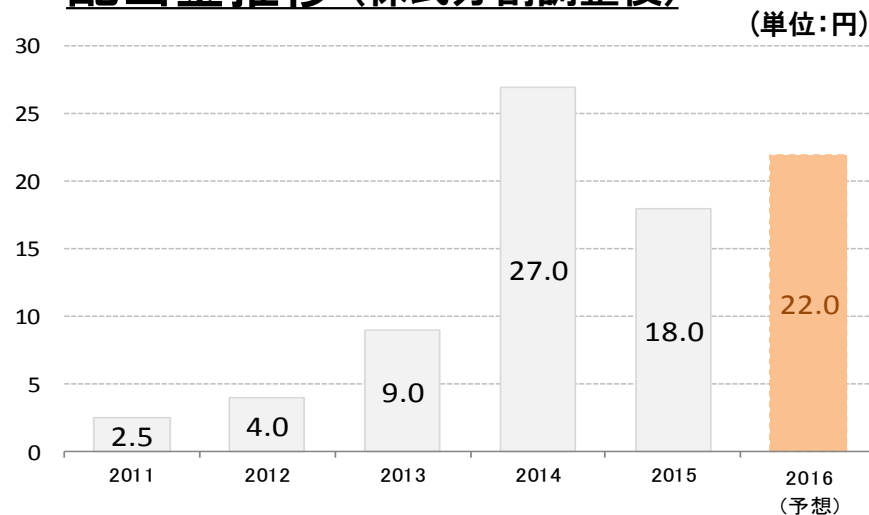
安定的な配当の継続を目指す

配当方針

純資産配当率や平均配当利回りなどの主要指標に着目
 新中期経営計画期間内に、これらの値が少なくとも全上場企業の平均値を上回ることを目標

	2015年 6月期	2016年 6月期予想
1株当たりの 配当金	18円	22円
配当性向	21.0%	18.1%

配当金推移 (株式分割調整後)



※2013年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

AVANT

アバント ホームページ <https://www.avantcorp.com/>

森川のブログ <http://blog.runavant.com/>

連結決算	親会社、子会社、関連会社を含めた企業グループを1単位と考えて、行う決算
アウトソーシング	業務を外部に委託すること。企業資源の有効活用、費用削減を目的に行われる
BI	<p>ビジネスインテリジェンスの略。企業内外の膨大なデータを、蓄積、分類、分析、加工し、企業活動に活用する概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営、財務、マーケティング、販売、生産等の企業活動のあらゆる業務において、<u>データを活用して競争優位性を高める</u>という考え方 ✓ 人間の経験や勘だけに頼らずにITを駆使し、<u>データに基づいた分析を踏まえた意思決定、及びその先の収益の最大化</u>を実現させる仕組み
ERP	エンタープライズリソースプランニングの略。統合基幹業務システムで、企業全体の人財、資金、顧客情報などの経営資源を管理し、経営の効率化や最適化を行う概念

アバントグループ — 経営の基本方針

経営判断の優先順位＝経営の「5つの鉄則」

① 信用

信用とは約束(コミットメント)を守ることです。お客様との関係においては、品質や期待に応えることを積み重ねることで得られるものであり、事業活動においては計画の精度を高め、その達成を繰り返すことで築かれるものと考えています。

② 高収益

高収益を志向することは、やりたいことを実践するための基礎であり、予期しない将来の変化へ柔軟に対応するための備えであると考えています。

③ 高生産性

人の命は有限であり、時間はその命を小分けにした単位とも考えられます。時間を有効に活用するために創意工夫することは、命を大切にすることに他なりません。企業にとり成長は大事ですが、その前に成長を支える仕組みを整えることが重要です。

④ 高成長

企業だけでなく、そこに働く人が共に成長しなければならないと考えます。日々新たな価値を生み出す努力をし、同じ仕事を繰り返さないことを目指しています。

⑤ 一芸の追求

一芸は万芸に通じるものであり、生き甲斐のもととも考えられます。仕事において、社員一人一人が「誰にも負けない」何かを有することが期待されています。また、そうした社員を一人でも多く増やして行きたいと考えます。